

■殿様日記 Vol.8 おひなさま展

平成27年 如月

このたび、長岡市立科学博物館において、皆様に牧野家のおひなさまを御覧いただけることを大変うれしく思っている。今回の展示は牧野家に伝わるおひなさまの内のほんの一部であるが、皆様に御披露するのは初めてである。

我が家のおひなさまの全部を展示したのは、父が健在であった昭和47年、京都府立総合資料館で展示した時が最後であり、その後は一度も公開していなかった。この時は地元の京都新聞はもとより、新潟県の新潟日報

(昭和47年3月17日付) や越後産業新報

(昭和47年3月5日付) など各社の新聞に掲載された。

平成16年、旧庄内藩主家の酒井忠久氏からの依頼で「庄内ひな街道5周年記念特別企画」に大名家のひな人形として酒井家のひな人形と共に展示したが、その時も一部のひな人形であった。

長岡では毎年「越後長岡ひなものがたり」が開催されており、今回は第8回目で市内の各店ではショーウィンドーにそれぞれのおひなさまが飾られている。これに合わせて当博物館でも「長岡藩主牧野家ゆかりのおひなさま展」を開催する運びとなった次第である。

牧野家のおひなさまは私の母が持参した大正時代のもの、祖母の明治時代のもの、それ以前の江戸時代のものなどとても数が多く、^{だいらびな}内裏雛だけでも大小12組ほど、^{さんにんかんじょ}三人官女、^{ごにんばやし}五人囃、^{さ だいじん}左大臣、^{う だいじん}右大臣、^{してい}仕丁等のお人形、お道具、^{ごしょにんぎょう}御所人形などたくさん残っている。



【初公開のおひなさま】



【展示作業中の筆者】

私が京都市立春日小学校のころ、春の学芸会で
お内裏様だいらさまの男雛おとこびなの役をしたことがある。同級生の
可愛らしい女の子が女雛おんなびなに選ばれて、二人で雛壇ひなだん
の上に座っていただけであるが、この季節になると
必ず思い出す楽しい思い出である。

現在では隔年に小学校の同窓会が京都で開かれて
私も出席しているが、女雛役になった女の子も出席
してくれるので、この時の学芸会の話や、我が家で
雛祭りをした時の話に花が咲き、楽しいひと時を過ごしている。



【学芸会の写真。上段の男雛が筆者】

当博物館では2月20日（金）から3月15日（日）まで「長岡藩主牧野家ゆかり
のおひなさま展」を開催しているので、ぜひ御来館いただきたいと思っている。



【科学博物館での展示の様子】